

今期の業績は微増

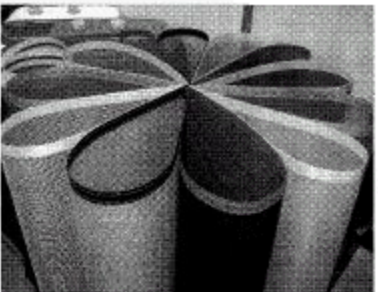
Aタイプメッシュベルトに注力

今年10月に創立8周年を迎えた中興ベルト。親会社の中興化成工業のふっ素樹脂技術をベースに、ふっ素樹脂製搬送ベルト「チューコーフロー

サービス向上を図り、着実にその業績を伸ばしてきている。社長の今里英雄氏は、「今上期の売上高は、前年同期比5%増という目標を達成、通期も大きな誤差はなく、現在の堅調さを維持でき

る見通しだ。ただ原材料のタイト感がさらに強まってきており、原料メーカーは値上げについて強気の姿勢。弊社も製品値上げが現実味を帯びてきている」と話す。

専門性の高いふっ素樹脂製品を扱っており、景気にはそれほど左右されないが、「安定した需要が見込まれる食品加工やその他の高付加価値用途で、用途の拡大を図っていく」と。食品用途では、食の安全における永遠のテーマである異物混入防止機能を付加した製品の共同開発も進めている。



注力商品は、「Aタイプメッシュベルト」。これはパラ系アラミドクロスにふっ素樹脂を含まない

たAタイプアブリックを基材にした製品。用途に応じた様々なメッシュサイズをラインナップ。離型性、非粘着性、かつ洗浄性、耐水蒸気性にも優れている。繰り返し洗淨にも劣化が少ない。連続使用温度はプラス200℃。食品衛生法にも適合。米飯の搬送用（炊き立てのご飯搬送等）、その他離形性を要求される食品用途を想定している。

ふっ素樹脂複合シリコンシート「SRP-616-1-RTW（F）」も食品衛生法適合品。クッション性・離型性・非粘着性・耐薬品性・耐油性に優れ、食品加工の成形、焼工程の補助や離型シート、クッション性を活かしたキズ防止マットとしても最適。「高機能耳補強材」は、PTFEフィルムを多方向で多層積層して製造した従来にはない構造。優れた機械的特性を持った新開発のPTFE100%フィルムで、耐引裂き性に優れ、ガラス繊維等を使用していないため、ベルトの耳補強材として最適。ミシン掛けの必要がなく、異物混入対策にもなる。